

報道関係各位		発信年月日	令和8年8月13日		送付枚数 (本紙含む)	1枚
担当部課名		担当課長名		担当者職氏名	連絡先電話番号	
企画部デジタル推進課		村上 信一		主幹 佐貫 政彰	(0836) 82-1147	
件名	生成 AI で市役所の仕事はどこまで効率化できる？ 職員が実際に体験します					
内 容						
山陽小野田市では、生成 AI を業務の効率化や職員の業務負担軽減に役立てるため、生成 AI の登場直後から、NTT インテグレーション(株) (旧：日本情報通信(株)) とともに活用を進めています。 その取組は、総務省が先月公表した「自治体 DX 推進参考事例集」においても、全国の自治体の先進的な事例として紹介されました。 生成 AI も導入から3年近くが経過し、「文章を書いてくれる道具」から「資料作成をまるごと支える道具」へと進化しています。そこで、生成 AI を活用する「事例共有会」を開催し、市職員が実際に生成 AI を操作し、日常業務をどこまで効率化できるかを体験します。 行政の働き方を変える生成 AI 活用の現場を、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。 記 1 日時 8月18日(火) 第1回 13:00～15:00 (藤田市長あいさつ) 第2回 15:15～17:15 (古川副市長あいさつ) 2 場所 山陽小野田市役所 本館3階 大会議室 (山陽小野田市日の出一丁目1番1号) 3 内容 アンケート集計、文書の要約や比較、議会答弁案やあいさつ文の作成、議事録作成など、NICMAを業務に活かす具体例を紹介します。実習を通じて、仕事を効率化する活用方法を体感できます。 【主な活用事例】 ・ アンケート集計や自由記載欄の整理・分析を効率化する ・ 大量の文書の要約や複数文書の比較を手早く行う ・ 議会答弁案やあいさつ文の作成を効率化する ・ 音声データを活用して議事録作成の負担を軽減する ※対象：生成 AI の利用が簡単な質問や検索に留まっている職員 活用の幅を広げたい職員 ※講師：NTT インテグレーション(株) 4 備考 2回の開催で市職員100人程度に対して研修をする予定です。						